

セイコーホールディングス株式会社

証券コード：8050

時計塔
80年

2013年3月期 中間報告書

2012年4月1日 ●●● 2012年9月30日

SEIKO

Report

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに2013年3月期の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、本年10月から、グループ各社との連携強化、グループ間のシナジー推進と効率経営の加速、グループ横断的な施策展開のため、新たにグループCEOの役職を設置し、代表取締役社長の服部真二が代表取締役会長兼グループCEOに、同じく代表取締役専務の中村吉伸が代表取締役社長に、それぞれ就任いたしました。

代表取締役会長兼グループCEOは、中長期的な経営方針および経営戦略の策定を主導し、代表取締役社長がその具体的執行責任を負うという役割分担のもと、コーポレートガバナンスの強化およびバランスのとれたスピード経営の両立を図って参ります。

2013年3月期第2四半期までの連結業績は、前年同期に比べ減収となりましたが、事業構造改革等の効果が浸透し、経常利益までは大きく改善されました。しかしながら、保有株式の多額の評価損計上により、四半期純損失は10億円となりました。従いまして、誠に遺憾ではございますが、かねてからの公表どおり中間期は無配とさせていただきます。

通期の業績につきましては、欧州金融危機および中国を含む新興国における経済成長の減速等の不安材料が多く、厳しい状況が予想されますが、黒字化、復配の実現に向け、全社一丸となって取り組んで参りますので、株主のみなさまには、今後も一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年12月



代表取締役会長 兼 グループ CEO
服部 真二



代表取締役社長
中村 吉伸

■ 2013年3月期第2四半期の取り組みと成果

当第2四半期連結累計期間（2012年4月1日～9月30日）におけるわが国の経済は、復興需要や政策効果などにより堅調だったものの、輸出の減少などの影響を受け景気の回復は減速傾向にあります。一方、世界経済では、米国経済は緩やかな回復基調を維持しておりますが、欧州は政府債務危機にともなう経済の低迷が続いております。また、アジアをはじめとした新興国地域の経済は引き続き成長しているものの欧州向け輸出の減少などにより成長が鈍り、全体として減速傾向が強まっております。

当社の当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期より51億円減少し、1,446億円となりました。事業別では、ウォッチ事業は国内で前年同期よりも大幅に売上高を伸ばし、また、海外では、中国をはじめとした多くの新興国で順調な成長を維持するとともに、欧米でも売上高が回復しております。一方、電子部品等事業では、タイの生産拠点が洪水被害からの復旧途中であることなどから前年同期を大きく下回りました。また、クロック事業、眼鏡事業およびその他の事業でも前年同期より売上高は減少しております。連結全体で国内売上高は746億円（前年同期比4.5%増）、海外売上高は699億円（同10.7%減）となり、海外売上高割合は48.4%（前年同期は52.3%）となりました。利益面では、前年度に行った事業構造改革等の効果を含む売上原価の低減および販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は前年同期比14億円増加の60億円となりました。また、営業外収支が前年同期より改善したことで経常利益は前年同期より31億円増加し、37億円となりました。しかしながら、受取保険金34億円および固定資産売却益15億円を特別利益に計上する一方、投資有価証券評価損64億円および災害による損失6億円ほか合計75億円を特別損失に計上したことにより、法人税等および少数株主利益控除後の四半期純損失は10億円（前年同期は四半期純損失23億円）となりました。

■ 通期の見通し

当第3四半期以降、中国を含む新興国における経済成長の減速をはじめとした不安材料が多く、それにとまなう電子デバイス関連市況の不透明感が強いことなどから、通期の業績見通しを売上高2,900億円（前年比2.3%減）、営業利益95億円（前年比41.1%増）、経常利益50億円（前年比290.5%増）、当期純利益25億円（前年は110億円の損失）といたしました。

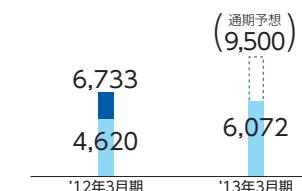
財務ハイライト

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 □ 通期予想

売上高 (百万円)



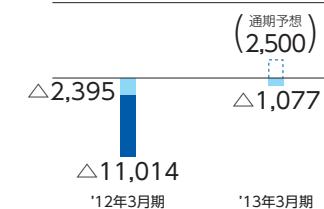
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



四半期(当期)純利益 (百万円)



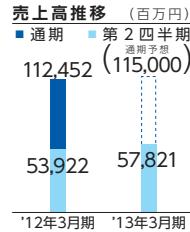
ウォッチ事業

売上高 **578億21** 百万円

おもな製品 ウォッチ、ウォッチムーブメント



グランドセイコー SBGH022
メカニカル ハイビート 36000 18Kモデル

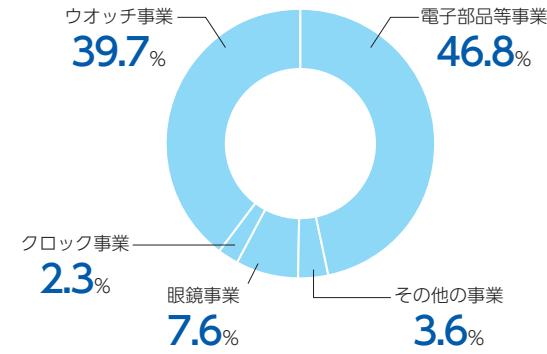


ウォッチ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比38億円増加の578億円（前年同期比7.2%増）となりました。国内では、高価格帯商品である「グランドセイコー」、「クレドール」をはじめ、中低価格帯商品のレディースウォッチ「ルキア」やメンズウォッチ「ブライツ」など幅広い価格帯で売上を前年同期より伸ばしました。世界初のソーラーGPSウォッチ「アストロン」も2012年9月の世界同時発売とともに市場より高い評価を得ております。海外では、中国をはじめとしたアジア諸国向けや南米向けの売上が好調を維持しました。また、欧米でも多くの国で前年同期を上回る売上となりました。ウォッチムーブメント販売も順調に推移しております。

利益につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益は前年同期比9億円増加の53億円となりました。

事業別売上高構成比

(2013年3月期第2四半期連結累計期間)



※上記の比率は、各事業間の内部売上高又は振替高調整後の数値に基づき算出しております。

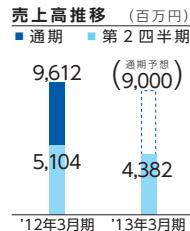
クロック事業

売上高 **43億82** 百万円

おもな製品 クロック



精度と利便性を向上させた電波時計
セイコーラ・クロック ソーラープラス



クロック事業は売上高43億円（同14.1%減）となりました。タイの洪水の影響による生産遅延などで国内、海外ともに売上が伸び悩みました。利益面でも、営業損失4億円（前年同期は営業損失1億円）となりました。

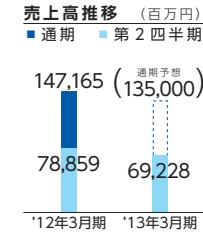
電子部品等事業

売上高 **692億28** 百万円

おもな製品 ハードディスクコンポーネント、半導体、水晶振動子、電池・材料、データサービス、電子辞書、プリンタ、計測分析装置、情報ネットワークシステム、カメラ用シャッター



左 半導体
右 Wi-Fiルーターを搭載したウィルコム向けPHS電話機 PORTUS



電子部品等事業は売上高692億円（同12.2%減）、営業利益14億円（同7.5%減）となりました。分野別には、電子デバイスのうち半導体は車載向け等を中心に受注が回復傾向となりましたが、メカトロニクスデバイスではハードディスクコンポーネントが大きく売上を落としています。システムアプリケーションではPHS用製品等が前年度から引き続き好調を維持し、また、放射線測量機器も売上を伸ばしました。

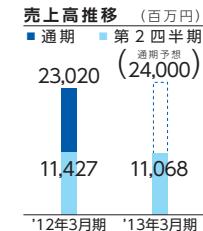
眼鏡事業

売上高 **110億68** 百万円

おもな製品 眼鏡レンズ・フレーム



次世代遠近両用
カスタムレンズ
パシュートPV



眼鏡事業は売上高110億円（同3.1%減）となりました。国内では、世界初のクロスサーフェス設計®（両面制御設計）の「セイコーパシュートPV」や高付加価値単焦点レンズが好調を維持し、レンズ売上は前年同期を大きく上回りました。一方、海外では、米国は伸び悩んだものの、欧州の大手チェーン向けは堅調に推移しました。利益面では、営業利益は前年同期より157百万円減益の13百万円（同92.2%減）となりました。

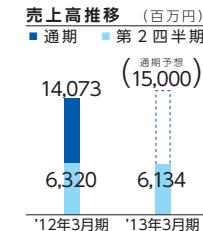
その他の事業

売上高 **61億34** 百万円

おもな製品 高級服飾・雑貨品、設備時計、スポーツ計時機器、不動産賃貸



和光本館 時計塔80年記念 特別ライトアップ



その他の事業は売上高61億円（同2.9%減）、営業損失2億円（前年同期は営業損失5億円）となりました。国内消費の回復などを背景に和光本館の売上は順調に推移しておりますが、設備時計・スポーツ計時機器の売上が出遅れております。

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期末 2012.9.30現在	前第2四半期末 2011.9.30現在	前期末 2012.3.31現在
【資産の部】			
流動資産	176,124	170,992	175,092
固定資産	196,212	217,759	211,035
資産合計	372,336	388,751	386,128
【負債の部】			
流動負債	226,097	212,091	206,487
固定負債	114,901	137,196	147,675
負債合計	340,998	349,288	354,162
【純資産の部】			
株主資本	27,690	37,032	28,416
その他の包括利益累計額	△ 4,603	△ 7,015	△ 4,336
少数株主持分	8,251	9,446	7,885
純資産合計	31,337	39,463	31,965
負債純資産合計	372,336	388,751	386,128

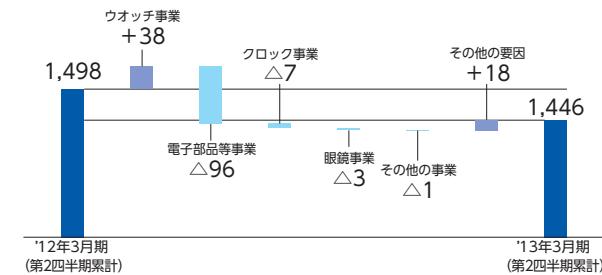
四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期 (累計) 2012.4.1から 2012.9.30まで	前第2四半期 (累計) 2011.4.1から 2011.9.30まで	前期 2011.4.1から 2012.3.31まで
売上高	144,631	149,803	296,937
売上原価	99,804	104,838	206,742
売上総利益	44,827	44,964	90,195
販売費及び一般管理費	38,754	40,344	83,462
営業利益	6,072	4,620	6,733
営業外収益	1,488	1,169	2,237
営業外費用	3,808	5,186	7,689
経常利益	3,752	603	1,280
特別利益	4,979	620	7,971
特別損失	7,573	2,017	14,020
税金等調整前 四半期純利益	1,159	△ 793	△ 4,768
法人税等	1,870	1,205	5,284
少数株主損益調整前 四半期純利益	△ 711	△ 1,998	△ 10,053
少数株主利益	365	397	961
四半期純利益	△ 1,077	△ 2,395	△ 11,014
包括利益	△ 410	△ 6,655	△ 11,981

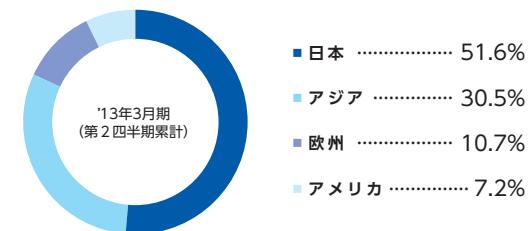
事業別売上高

(億円)



ウォッチ事業は国内外で好調に推移しましたが、電子部品等事業でハードディスクコンポーネントが大きく売上を落としたことなどにより、減収となりました。

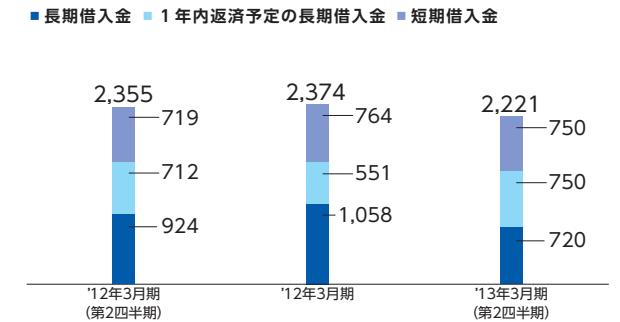
地域別売上高構成比



ウォッチ事業が国内で特に好調だったことにより国内比率が伸びています。米国、欧州では厳しい状況が続いていますが、アジアを中心とした新興国での売上は堅調に推移しています。

借入金残高

(億円)



前期末に比べ長期ならびに短期借入金は約153億円減少し、2,221億円となりました。2013年3月期末には中期経営計画目標値の2,000億円を目指しております。

※借入金残高…長期借入金+短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

IRサイトのご案内

当社のIR情報に関してより詳しい情報はこちらよりご覧ください。



<http://www.seiko.co.jp/ir>

セイコー IR 検索

THE SEIKO MUSEUM

セイコーミュージアム リニューアルオープン

セイコーミュージアム(旧セイコー時計資料館)は、時と時計の研究資料の収集・保存を主たる目的にして、1981年に設立されました。2012年4月、より幅広い方々へ情報発信を行うことを目指して、「セイコーミュージアム」に名称変更し、リニューアルオープンしました。セイコーブランドの情報発信基地として、また大人から子どもまで楽しめる散策スポットとして展示内容を充実させています。

2F フロア紹介

■ セイコー創業の精神



創業者である服部金太郎が時計店を開業し「東洋の時計王」となるまで、その生涯と創業の精神をパネルや映像で紹介しています。

■ セイコー ウォッチ・クロック製品史



日本初の目覚まし時計や腕時計、世界初のクォーツ腕時計からソーラーGPSウォッチまで、セイコーの歴史を彩る数々の商品を展示しています。

1F フロア紹介

■ 時と時計の進化



古代の日時計から始まり、水、火、砂、機械式時計そしてクォーツ時計へと発展してきた時計を計る道具の進化を展示しています。

■ スポーツ計時体験コーナー



水泳用タッチ板を実際に動かして、タイム計測にチャレンジできます。また、東京五輪で使用したストップウォッチや世界記録を計ったスリットビデオなどを展示しています。



■ 和時計コレクション



夜明けと日暮れを基準にした「不定時法」に合わせて、独自の改良を施した和時計のコレクションを空調ルームで展示しています。

■ ミュージアムショップ



セイコーのウォッチ・クロックの最新ラインナップのほか、砂時計・携帯用日時計・絵はがきなどオリジナルアイテムを販売しています。

【セイコーミュージアム】

開館時間 10:00~16:00(入場受付は15:30まで)
 休館日 月曜日、祝日(ただし5月3、4、5日は開館)、年末年始
 *月曜日が祝日の場合、翌火曜日も休館
 入館料 無料 *予約制
 住所 〒131-0032 東京都墨田区東向島 3-9-7
 TEL 03-3610-6248
 URL <http://museum.seiko.co.jp/>

セイコーミュージアム 検索 Click

■ 現地ご案内



- 東武スカイツリーライン 東向島駅より徒歩8分
- 京成線 京成曳舟駅(都営浅草線乗入れ) 徒歩15分/バス7分(日暮里駅または南千住東口行明治通り→白鬚橋東下車)
- 東京メトロ日比谷線 三ノ輪駅 バス7分(亀戸駅行 三ノ輪二丁目→白鬚橋東下車)
- JR総武線 亀戸駅 バス15分(日暮里駅行きまたは南千住東口行 亀戸駅→白鬚橋東下車)

世界初ソーラー GPS ウォッチ ＜セイコー アストロン＞ 世界同時発売



2012年9月27日、セイコーウォッチがソーラーGPSウォッチ＜セイコー アストロン＞を世界同時発売しました。

世界39の全タイムゾーンに対応した＜セイコー アストロン＞は、「世界中どこでも正確な時間を刻む、とまらない時計」を目指し、構想から約10年の歳月をかけて商品化しました。通常の5分の1の低パワーで駆動するGPSモジュール、リング型構造の高感度アンテナなど主要部品を新たに開発し、外部充電を必要としない世界初の自己完結型ソーラーGPSウォッチです。

1969年のクォーツ腕時計誕生に次ぐ、第2の革命として、新たな腕時計のスタンダードを目指します。

和光 時計塔 80年 和光アネックス オープン



和光の「時計塔」は、1932年6月10日の時の記念日に、服部時計店(現・セイコーホールディングス)の新社屋として銀座4丁目の交差点に誕生。その後、和光としての営業を開始し、建物も和光本館と名前を変え、銀座のシンボル「和光の時計塔」として皆さまに親しまれてきました。2012年6月10日に竣工80年を迎え、お客様への感謝の気持ちを込めて、和光全館でアニバーサリーフェアを開催しました。

また9月1日には、ティーサロンやケーキ&チョコレートショップを備え、和光ならではの「食」をご提供する「和光アネックス」がオープンしました。和光本館並びの和光アネックスで、銀座でのティータイムやお買物をお楽しみいただけます。

■ 会社情報

会社概要

社名	セイコーホールディングス株式会社
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	96名(単体) 15,568名(連結)
本店所在地	〒104-8129 東京都中央区銀座四丁目5番11号
本社所在地	〒105-8505 東京都港区虎ノ門二丁目8番10号 虎ノ門15森ビル 電話：03-6739-3111(代表)
WEBサイト	http://www.seiko.co.jp

役員 (2012年12月1日現在)

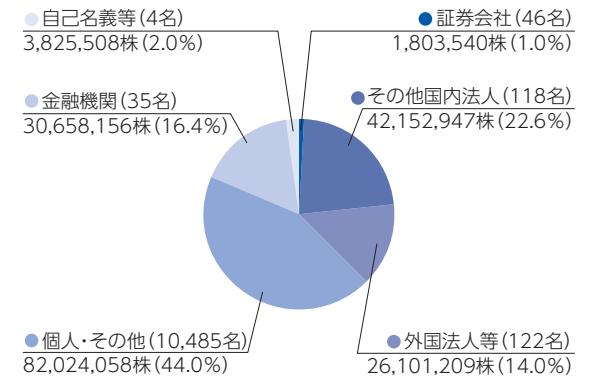
代表取締役会長兼グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸
専務取締役	村上 斉
取締役	石井 俊太郎
取締役	内藤 昭男
取締役	鎌田 國雄
取締役	平田 喜信
取締役	土居 聡
取締役	原田 明夫
取締役	大内 俊身
常勤監査役	鈴木 政利
常勤監査役	三上 誠一
監査役	森田 富治郎
監査役	山内 悦嗣
監査役	青木 芳郎

■ 株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	746,000,000株
発行済株式の総数	186,565,418株
株主数	10,810名

株式所有者別の状況



※自己名義等は、自己名義株式(233,558株)および当社関係会社が所有する株式です。

株主メモ

証券コード	8050
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
決算基準日	3月31日
期末配当金の基準日	3月31日 ※中間配当を行う場合は、9月30日が確定日となります。
株主名簿管理人および特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵送物送付先 お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 ただし、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。

SEIKO

セイコーホールディングス株式会社

■ 事業区分ごとの主な国内連結子会社

ウォッチ事業

セイコーウォッチ株式会社
セイコーインスツル株式会社

電子部品等事業

セイコーインスツル株式会社
セイコープレジジョン株式会社
セイコーNPC株式会社

クロック事業

セイコークロック株式会社

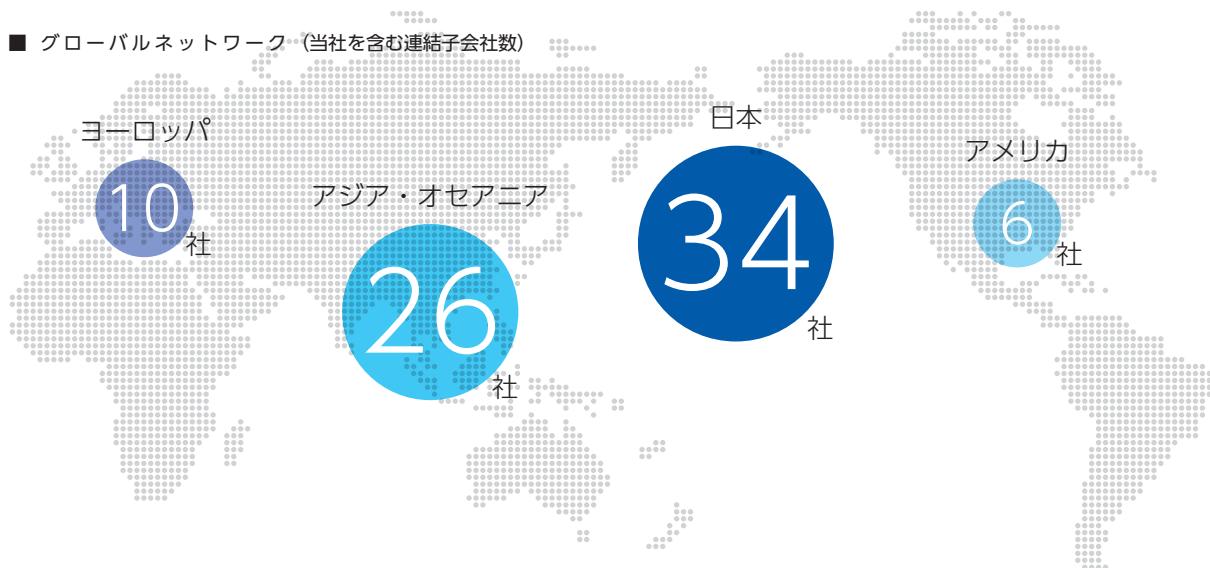
眼鏡事業

セイコーオプティカルプロダクツ株式会社

その他の事業

株式会社 和光
セイコータイムシステム株式会社

■ グローバルネットワーク (当社を含む連結子会社数)



セイコーホールディングス株式会社

〒105-8505 東京都港区虎ノ門二丁目8番10号
電話 03-6739-3111 (代表)

UD FONT
by MORISAWA
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

